

令和5年度第4回船橋市社会教育委員会議

資料

令和5年12月19日（火）

午後3時00分 開会

ふなばし市民大学校の委託の検討について

令和6年4月1日に予定されている「公益財団法人船橋市公園協会」と「公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社」の合併に併せて、合併後の法人にふなばし市民大学校を委託することを検討しています。

ふなばし市民大学校を合併後の法人に委託することにより、市と法人による一体的な事業展開や、より良い学習環境の提供などのメリットを見込んでいます。

1 委託の内容

ふなばし市民大学校で行っている日常の管理運営業務（庶務など）、カリキュラム編成、学生募集、授業運営、講師との連絡調整など、市の職員が事務局で行っている業務を委託します。

現在の運営方法、学部編成、カリキュラムは大きく変えることなく継続します。

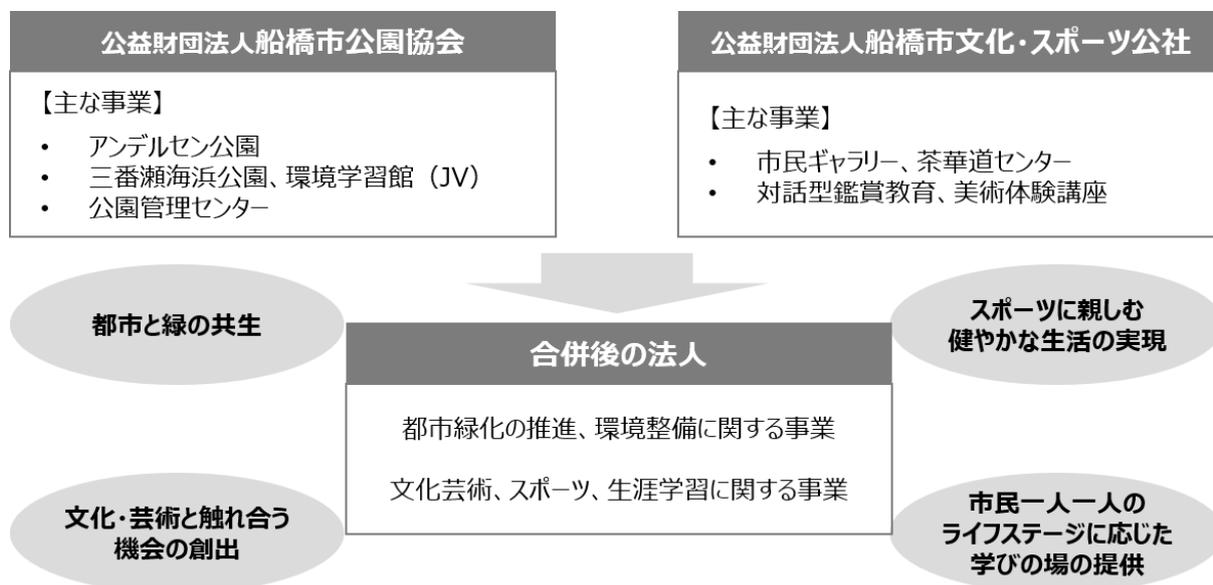
（委託後も市が行う業務）

カリキュラムの最終決定、ふなばし市民大学校運営協議会の運営、施設修繕など、事業主体である市が関与すべき業務については、社会教育課で行います。

2 委託による効果

(1) 市と法人による一体的な事業展開

- ・ 法人が取り組む分野（都市緑化、環境整備、文化芸術、スポーツ、生涯学習）との連携強化
- ・ 市の施策と連携した学習環境の提供、市民と連携した運営



(2) より良い学習環境の提供

- 効果的・効率的な事業運営
- 知識、経験を活かしたカリキュラムの編成、講座の企画、日々の授業運営
- 専門的な知識・経験を有する職員（教育経験者等）の継続的な配置

史跡取掛西貝塚保存活用計画（素案）に対する パブリック・コメントの実施について

令和3年10月に国史跡に指定された取掛西貝塚について、文化財保護法第129条の2に基づく保存及び活用に関する計画を、史跡取掛西貝塚保存活用計画策定委員会や関係各課のご意見をいただきながら、策定作業を進めております。

つきましては、下記のとおり史跡取掛西貝塚保存活用計画（素案）に対するパブリック・コメントを実施しておりますので、ご報告いたします。

記

1. 計画案等の名称 史跡取掛西貝塚保存活用計画（案）
2. 資料閲覧及び意見募集期間 令和5年12月15日（金）から令和6年1月15日（月）
※広報ふなばし12月15日号/市ホームページにて周知予定
3. 資料閲覧場所 船橋市教育委員会文化課及び行政資料室
各公民館・図書館・博物館・出張所・連絡所・船橋駅前総合窓口センター ※市ホームページでも閲覧可
4. 計画の概要（骨子） 計画は令和6年度からの10年計画で、10年後に改訂について検討する。短期（令和6年度から令和10年度まで）・中期（令和11年度から15年まで）・長期（令和16年以降）に分けて、下記の内容を進めるため計画を策定する。
 - 【保存管理】
貴重な歴史的財産である取掛西貝塚を恒久的に保存し、未来へ継承する。
 - 【活用】
様々な活用を通じて、取掛西貝塚の本質的価値をわかりやすく、正しく伝え、その魅力を向上させる。
 - 【整備】
まちづくりにつながるに史跡の整備を進める。
活用の方針を達成するために必要な整備を進める。
 - 【運営・体制】
取掛西貝塚の適切な保存活用のため、運営体制を整備する。
5. 意見提出先 船橋市教育委員会生涯学習部文化課文化財保護係



令和5年度 船橋市所蔵作品展

フナバシストーリー

北井一夫

2023.12.6(水) - 12.24(日)

10:00-17:00(金曜日は19:00まで) | 入場無料

同時開催：市内小中学生による「私の船橋ストーリー」展
主催：船橋市教育委員会／(公財)船橋市文化・スポーツ公社
協力：G&S 根雨

船橋市民ギャラリー

1960年代以降の船橋。団地や新興住宅地が次々と造成され、日本全国から多くの人が移り住むことで人口が急増し、人も、町も、生活様式も急激に変化しました。

写真家・北井一夫(1944-)は、大きく発展を遂げた船橋で1983年から1987年にかけて、町の姿、そこに暮らす人々を撮影し、〈フナバシストーリー〉というシリーズにまとめました。船橋駅で新聞を読みながら電車を待つサラリーマン、ピアノが置かれた団地の一室で家事をする女性、繁華街に集まるリーゼントの若者たち…写真には、白っぽくて明るい、その時代を生きた人々のリアルな「日常」が映し出されています。

当時、北井一夫は、この新しい町の様子が「故郷の風景」となるのか世に問いかけました。撮影から約40年が経過し、〈フナバシストーリー〉の時代の人々は故郷を振り返る年齢となりました。ここに写された風景は、彼らにとって懐かしい風景でしょうか、それとも、変わらない日常の風景なのでしょう。今、それを確かめる時になりました。

このたび、100点以上に及ぶ〈フナバシストーリー〉のヴィンテージプリント*を一堂に会する展覧会を、撮影された地・船橋で開催します。また、本展覧会では、1970年代に農村社会の営みを撮影した〈村へ〉や、2000年代に身近なものや場所を撮影し、カメラ雑誌に連載された〈ライカで散歩〉など、現実を見届け、相手との関わりを記録し続けた写真家・北井一夫の作品を併せて紹介します。

1980年代の船橋を知る人、或いは、初めてこの風景に出会う人にとって、会場の写真は、新たな船橋の物語を紡ぎきっかけとなるかもしれません。

*ヴィンテージプリント…撮影から数年以内に写真家本人により制作され、相当の年月を経たプリント

北井一夫 | Kitai Kazuo 写真家

1944年、旧満州鞍山の生まれ、日大芸術学部写真学科中退。写真集『抵抗』『三里塚』『村へ』『いつか見た風景』『フナバシストーリー』『1990年代北京』など独特な視座と柔軟な感性による写真作品がある。1972年に日本写真協会新人賞、76年、第一回木村伊兵衛写真賞、2013年、日本写真協会作家賞を受賞。各種印刷物に多数の作品を発表。時代を捉えた写真集の刊行も続き、優れた写真展を多数開催。未来に向けて写真文化を見据えている。2023年10月～11月には、隠岐の島町(島根県)にて個展「隠岐の島」を開催。

関連イベント

○アーティストトーク 北井一夫 × 石井仁志 (20世紀メディア評論)

〈フナバシストーリー〉とその他の北井作品について、ゲストに評論家の石井仁志氏を迎えて対談形式のトークを行います。

日時：12月9日(土) 14:00-16:00
会場：船橋市民ギャラリー 第2ホール

○学芸員によるギャラリートーク

展覧会の見どころを担当学芸員がご紹介します。(各回とも内容は同じです。)

日時：12月15日(金) / 22日(金) 14:00-15:00
会場：船橋市民ギャラリー 展示室

*すべての関連イベントは参加費無料、要事前申し込み(定員30名、先着順) 11月15日(水)から船橋市民ギャラリーの窓口もしくはお電話(047-420-2111)でお申し込みください。

○同時開催 | 市内小中学生による「私の船橋ストーリー」展

市内の小中学生が、図工・美術の授業中に制作した写真作品「私の船橋ストーリー」の成果展を同時開催します。北井一夫(フナバシストーリー)をパソコンやタブレット端末にて鑑賞後、身の回りの風景を撮影、組写真にして、自分の思いを言葉にのせ作品を制作しました。会場では、子供たちが切り取った「今」をお楽しみください。

会場：船橋市民ギャラリー 第1展示室



船橋市バーチャル美術館にて 展覧会・イベント情報を掲載中!

船橋市バーチャル美術館



1 (フナバシストーリー) 1987年 船橋市蔵



2 (ライカで散歩)《木漏日》2008年 作家蔵



3 (フナバシストーリー) 1987年 船橋市蔵

○特別展示

展覧会に先立ち、北井一夫(フナバシストーリー)の一部を展示します。

会期：11月11日(土)-12月10日(日) 休館日：11月27日(月)

開館時間：9:30-20:00(月～金) / 9:30-17:00(土・日・祝)

会場：船橋市西図書館 2階ギャラリー

〒273-0031 船橋市西船1-20-50 Tel.047-431-4385

JR西船橋駅北口より徒歩約5分

京成本線京成西船駅より徒歩約15分

船橋市民ギャラリー

〒273-0005 船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル3階

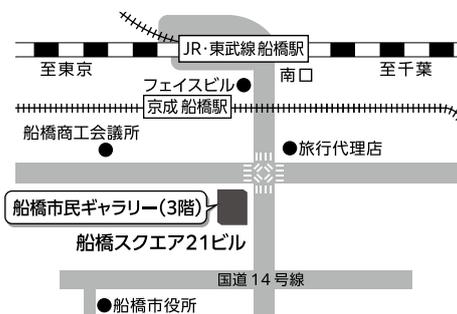
Tel.047-420-2111

<https://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>

船橋市民ギャラリー

JR船橋駅、東武線船橋駅南口より徒歩約7分

京成船橋駅より徒歩約5分



スポーツ健康都市宣言40周年記念事業 第3弾 「市立船橋スポーツフェスティバル」を開催します！ ～将来を担う子どもたちに「市船 soul」を伝授～

船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念事業の第3弾として令和6年1月20日（土）に「市立船橋スポーツフェスティバル」を市立船橋高等学校と船橋市運動公園で開催します。

今年は、昭和58（1983）年10月に、人もまちも健康でありたいという願いを込めた“スポーツ健康都市宣言”を行って40周年を迎えた記念の年です。市では、スポーツ健康都市宣言40周年を市民と一体となって盛り上げ、年齢や障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じた市民相互のコミュニケーションの機会を創出するため、イベントを開催しています。記念事業の第1弾として、アメリカ体操協会ナショナルチームスペシャルアドバイザーの富田洋一氏と東京2020オリンピックの男子体操で金メダルに輝いた橋本大輝選手を招いて、スポーツ講演会を開催。第2弾は、スポーツ健康都市を支え続ける地域のスポーツ関係団体を中心に、船橋市運動公園でさまざまなスポーツを体験できる「スポーツフェスタ」を開催しました。

40周年記念事業のフィナーレを飾るのは、全国に“市船”の名を轟かせる市船生徒による「市立船橋スポーツフェスティバル」です。

オープニングセレモニーでは、映画『20歳のソウル』で話題となった「市船 soul」を吹奏楽部とダンス部が披露し開幕！各会場では、小中学生を対象に野球やサッカー、陸上、体操などの各々が、“先生”となって子どもたちに、バッティングやシュートの打ち方、早く走る秘訣など市船で培ってきた技術やスポーツの楽しさを伝えます。

このイベントを通して、小中学生が同校生徒の経験や思いを学ぶとともに、自身のスポーツや文化活動への思いを育む機会となります。

市では、40周年を迎えた特別な年に行われる交流が、次世代を担う子どもたちの一生の思い出となることを期待しています。

記

○スポーツ健康都市宣言40周年記念事業 第3弾

市立船橋スポーツフェスティバル

日 時：令和6年1月20日（土）※雨天は運動公園のみ中止

午前8時45分～午後1時

場 所：市立船橋高等学校、船橋市運動公園

内 容：・開会式 午前9時30分～ 船橋市運動公園 野球場

※雨天時は市立船橋高等学校 体育館

・各会場で体験会 午前10時～

種目：野球・サッカー・陸上競技・体操・剣道

・各会場で閉会式 午後12時30分～

対 象：市内在住・在学・在クラブの小中学生

問い合わせ先 生涯スポーツ課 047（436）2059

(案)

船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念
第68回成人の日記念
船橋市民駅伝競走大会



開催日 令和6年1月14日(日)

会場 船橋市運動公園～船橋アリーナ

船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念

第68回 成人の日記念船橋市民駅伝競走大会 開催要項 (案)

- 1 趣 旨 広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。
- 2 主 催 船橋市マラソン・駅伝実行委員会
- 3 共 催 船橋市教育委員会 船橋市スポーツ協会
- 4 主 管 船橋市陸上競技協会
- 5 後 援 読売新聞千葉支局
- 6 協 力 船橋警察署 船橋東警察署 船橋市消防局 (一社) 船橋交通安全協会
船橋市スポーツ推進委員協議会 船橋市スポーツと健康を推進する会
ふなスポ活き生きパークパートナーズグループ ふなぼしスポーツ健康パートナーズ
船橋市立御滝中学校 千葉県立船橋北高等学校 株式会社モリタ環境テック
船橋市立豊富小学校 千葉県立船橋古和釜高等学校 船橋市立坪井中学校
(一社) 千葉県タクシー協会 (確認中) NPO 法人千葉県 ACLS 協会
- 7 日 時 令和6年1月14日(日) 午前9時02分:スタート予定
<荒天等により、主催者の判断で中止になる場合があります>
*開会式 令和6年1月10日(水) 午後6時00分~ 市役所本庁舎11F大会議室
(開会式終了後、監督会議を行います。)
- 8 会 場 スタート 船橋市運動公園
フィニッシュ及び表彰式 船橋市総合体育館(船橋アリーナ)
- 9 参加部門 中学校の部、高等学校の部、一般の部
- 10 コー ス 詳細はコース図参照 **<工事等によりコース等が変更になる場合があります>**

1区	運 動 公 園 ~ 御 滝 中 学 校	4.0 km
2区	御 滝 中 学 校 ~ 船 橋 北 高 校	4.6 km
3区	船 橋 北 高 校 ~ 東 京 学 館 船 橋 高 校 入 口	3.3 km
4区	東 京 学 館 船 橋 高 校 入 口 ~ 豊 富 小 学 校	2.1 km
5区	豊 富 小 学 校 ~ 船 橋 古 和 釜 高 校 入 口	3.2 km
6区	船 橋 古 和 釜 高 校 入 口 ~ 船 橋 ア リ ー ナ	2.4 km
6区間		19.6 km

- 11 表 彰 各部1位~3位チームに賞品・賞状、4位~8位チームに賞状を授与する。
また、各部・各区間において区間賞を授与します。
- 12 参加資格 (1)健康診断を受けた健康な方。
(2)市内在住・在勤・在学の男子
(3)令和6年1月10日の開会式および監督会議に責任者(監督)が出席できること。
- 13 出場制限 (1)各部門への参加は1団体につき1チームまでとし、チーム構成は男子のみとする。
(2)一般の部については、日常的に活動を行っている団体・チームとし、本大会出場の為に **急きょ結成したチームではないこと**。また、中学生・高校生を含むことはできない。
(3)責任者(監督)が複数のチームを兼ねることはできない。
- 14 申込期間 高等学校・一般の部は、**令和5年12月1日(金)から令和5年12月22日(金)必着**
中学校の部は、**令和5年12月1日(金)から令和6年1月5日(金)必着**
- 15 申込方法 市ホームページから所定の申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、下記メールアドレスへ申し込んでください。なお、走順は未入力とすること。
- 16 申込先 船橋市マラソン・駅伝実行委員会事務局(船橋市教育委員会 生涯スポーツ課内)
(問合せ先) メールアドレス: supotsu@city.funabashi.lg.jp TEL: 047-436-2912

17 参加料 1チームにつき、中学校3,000円、高等学校5,000円、一般8,000円
(保険料含む) *支払方法：監督会議の受付時(なお、参加料の返金対応は一切いたしません)

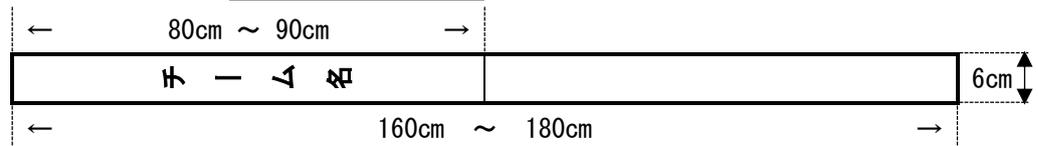
*参加者は行事傷害保険に加入します。手続きは主催者で行います。

18 監督会議 令和6年1月10日(水)午後6時～ 開会式・監督会議 船橋市役所11F大会議室

※監督会議に欠席したチームは棄権とみなします。

○持ち物：①参加料、②参加申込書(走順を記載したもの)③各チームで作成したタスキ
④各チームで作成したアスリートビブス1~6区(胸・背計12枚)

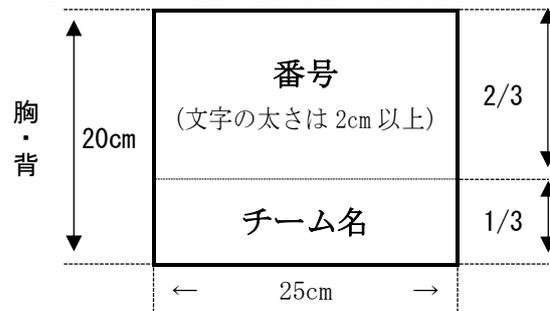
- 19 競技規定 (1)ルールは2023年度日本陸上競技連盟駅伝競走規準を準用する。
(2)チーム編成は、選手6人・補欠2人まで。ただし、中学校の部は補欠3人までとする。
(3)申込後の選手変更は補欠選手との変更のみとし、1区スタート30分前まで認める。
*参加申込書のコピーに変更箇所を赤字で記入し、大会当日の受付に提出すること。
(4)選手の伴走は原則として認めないが、特別な事情がある場合は監督会議時に申告する。
(5)選手・荷物の輸送は、各チームで行うこと。
(6)選手は交通法規を守り、審判員・交通整理員の指示に従うこと。
(7)繰り上げスタートは第4中継地点(旧新京成バス折り返し場所)において、先頭チームより15分遅れた場合に適用する。
(8)引き継ぎはタスキを用い、タスキは、必ず肩から斜め脇下にかけて走ることとする。また、タスキの引き継ぎは手渡しでなければならず、投げ渡しや前走者が落としたタスキを次走者が拾った場合は失格とする。
(9)タスキは下記により各チームで作成する(縦書き)。繰り上げ用は主催者が準備する。



- (10)アスリートビブスは下記により各チームで作成する。

*番号は申込後、各チームに通知します。(中学校は学校番号とする。)

※番号、チーム名は大きくはっきりと記入すること。



※中学は白布地に黒字
※高校は白布地に緑字
※一般は白布地に赤字

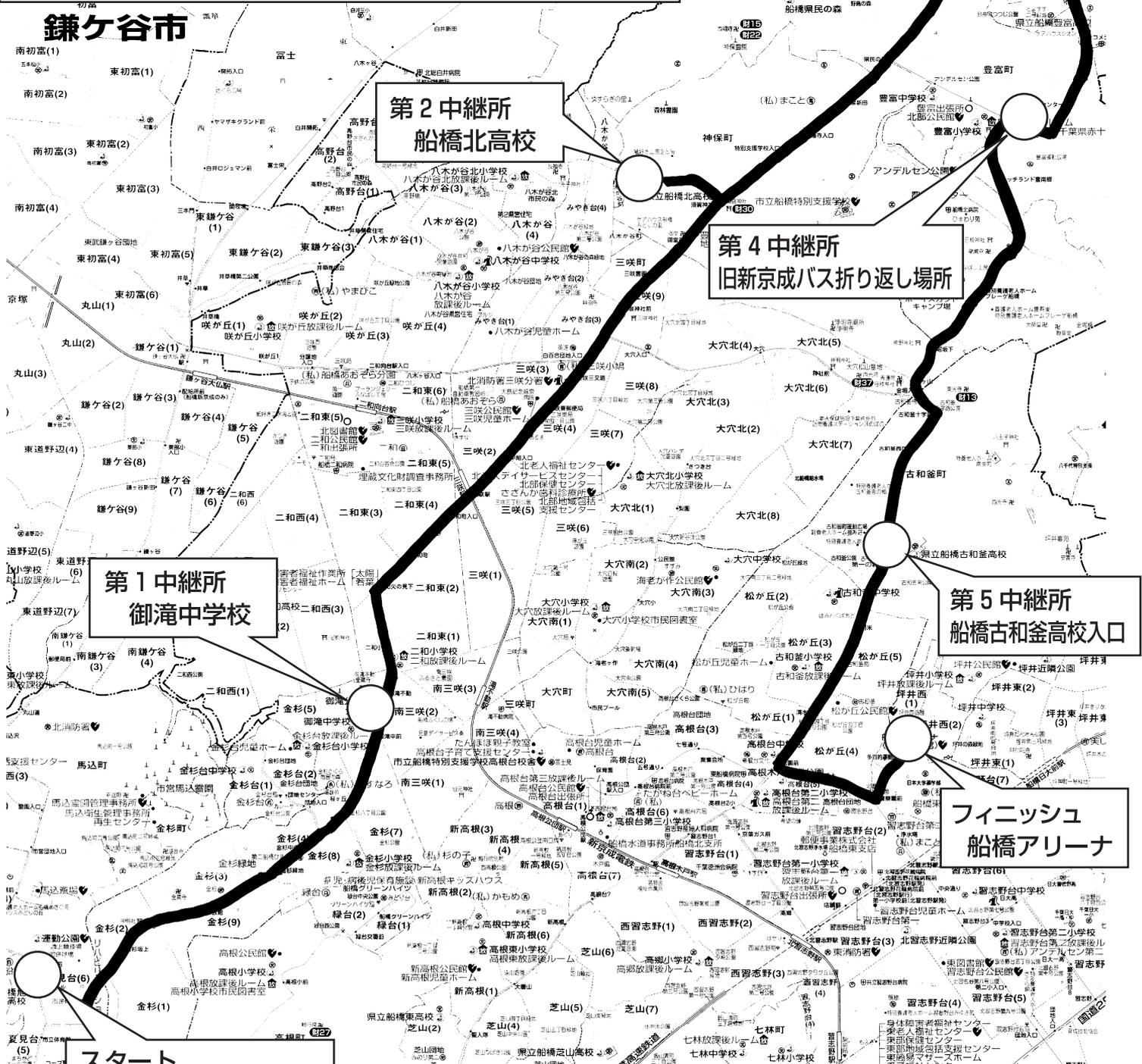
- 20 その他 (1)申込締切日を必ず守ってください。申込締切日を過ぎたものは受付いたしません。
(2)申込み多数の場合、運営安全上の理由により、チーム数を制限する場合がございます。
(3)交通安全上等の理由により試走は禁止します。
(4)大会前に、コース・中継所において、トラブル・事故等を起こさないように十分に注意してください。
(5)大会当日、運動公園駐車場は満車が予想されます。幹線道路の交通渋滞や近隣民間店舗への違法駐車等による迷惑防止のため、公共の交通機関を利用してください。
(6)別紙「大会参加当日のセルフチェック10ポイント」を参考に、レース当日の体調をセルフチェックしてください。なお、当日に体調が悪い場合には、参加できません。

21 個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関する法令等を遵守し、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、ホームページ掲載及び冊子による記録発表、その他競技運営及び駅伝に必要な連絡等に利用します。

船橋市民駅伝競走大会コース図

- 1区 運動公園陸上競技場 ～ 御滝中学校
- 2区 御滝中学校 ～ 船橋北高校
- 3区 船橋北高校 ～ 東京学館船橋高校入口
- 4区 東京学館船橋高校入口 ～ 旧新京成バス折り返し場所
- 5区 旧新京成バス折り返し場所 ～ 船橋古和釜高校入口
- 6区 船橋古和釜高校入口 ～ 船橋アリーナ



第3中継所
東京学館船橋高校入口

第2中継所
船橋北高校

第4中継所
旧新京成バス折り返し場所

第1中継所
御滝中学校

第5中継所
船橋古和釜高校入口

フィニッシュ
船橋アリーナ

スタート
運動公園陸上競技場

第42回船橋市小学生・女子駅伝競走大会 開催要項（案）

- 1 **趣 旨** 広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。
- 2 **主 催** 船橋市マラソン・駅伝実行委員会
- 3 **共 催** 船橋市教育委員会 船橋市スポーツ協会 船橋中央ライオンズクラブ
- 4 **主 管** 船橋市陸上競技協会
- 5 **後 援** 産経新聞社千葉総局
- 6 **協 賛** 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 7 **協 力** NPO法人千葉県ACLS協会 船橋市消防局
船橋市スポーツと健康を推進する会
- 8 **日 時** 令和6年2月3日（土） 受付開始8：00～（予定）
○受付・開会式の詳細につきましては、参加者に後日連絡します。
※雨天決行。なお、荒天等により、主催者の判断で中止になる場合があります。
- 9 **会 場** 船橋市運動公園
※船橋市運動公園陸上競技場は改修工事等によりコースが変更になる場合があります。

10 各部の招集完了時刻・スタート時刻・区間（距離 km）

部 門	招集完了時刻	スタート時刻	1区 女子	2区 男子	3区 女子	4区 男子	5区 女子	6区 男子	合計
小学校 男女の部	8：50	9：10	1.85	1.60	1.60	1.60	1.60	1.85	10.10

今回、小学校の部は、男女混合のみとなります。

部 門	招集完了時刻	スタート時刻	1区	2区	3区	4区	5区	合計
一般の部	8：50	9：11	1.75	1.40	1.40	1.40	1.75	7.70
中学校の部	9：55	10：15	3.12	1.90	1.90	1.90	2.15	10.97
高等学校の部	9：55	10：15						

- 11 **表 彰** 各部の1位のチームには優勝旗を授与します。
小学校・中学校の部は、1位～3位までのチームに賞状・賞品、
4位～10位までのチームに賞状を授与します。
高等学校・一般の部は、1位～3位までのチームに賞状・賞品、
4位～6位までのチームに賞状を授与します。
また、中学校・高等学校・一般の部は、各区間に区間賞として賞状・賞品を授与します。
表彰式につきましては、記録集計が終了次第行う予定です。詳細は後日連絡します。

12 参加資格

- (1) 全部門共通
○令和6年1月29日（月）の監督会議に出席できること。
- (2) 小学校・中学校の部
○市内在学の小学生・中学生
○本年度の定期健康診断において異常なしと診断され、学校長が参加を認めた児童・生徒。
- (3) 高等学校の部
○本年度の定期健康診断において異常なしと診断され、学校長が参加を認めた生徒。
○高等学校の部は、他のチームとの混成、近隣市の参加も認められます。
- (4) 一般の部
○健康診断を受けた健康な方
○一般の部は、他のチームとの混成でも認められます。
○一般の部は、高校生以下は出場できません。

- 13 **出場制限** 小学校・中学校の部は、各校1チームとなります。
高等学校・一般の部は、チーム数の制限はありません。

- 14 **申込期間** 令和5年12月15日（金）から令和6年1月12日（金）

- 15 **申込方法** 市ホームページから所定の参加申込書等をダウンロードし、必要事項を入力の上、メール等で提出してください。なお、走順につきましては大会当日の受付で確認しますので記載不要です。
○各部門により提出書類および提出先が異なります。以下をご確認ください。

部門	提出書類	提出期日と提出先
(1) 小学校の部 中学校の部	①参加確認票 ②参加申込書 (小学) 参加申込書 (中学)	①参加の有無に関わらず、 <u>1月12日(金)までに事務局宛にメールまたはFAXで提出してください。</u> ②参加する学校は、 <u>1月26日(金)までに</u> ・小学校は事務局宛にメールで提出してください。 ・中学校は中学駅伝担当宛にメールとFAXの両方で提出してください。
(2) 高等学校の部 一般の部	・参加申込書 (高校) ・参加申込書 (一般)	<u>1月12日(金)までに事務局宛にメールで提出してください。</u> supotsu@city.funabashi.lg.jp

16 参加料 (保険料を含む)

1 チームにつき、小学校2,000円、中学校2,000円、高等学校・一般3,000円

○支払方法：監督会議の受付時 (なお、参加料の返金対応は一切いたしません)

○参加者は行事傷害保険に加入します。手続きは主催者で行います。

17 申込先

(問合せ先) 船橋市マラソン・駅伝実行委員会 事務局

住所：船橋市湊町2-10-25 船橋市教育委員会生涯スポーツ課内

メールアドレス：supotsu@city.funabashi.lg.jp ☎：047-436-2912

18 監督会議

令和6年1月29日(月) 午後6時～ 船橋市役所11階 大会議室

※監督会議に欠席した場合は出場できません。

○持ち物：①参加料 ②各チームで作成したタスキ

③各チームで作成したアスリートビブス1~5(6)区 (胸・背計10(12)枚)

※参加申込書の持参は不要となりました。

19 競技規定

(1) ルールは2023年度日本陸上競技連盟駅伝競走規準を準用する。

(2) チーム編成は、選手5人・補欠3人まで、計8人以内とする。ただし、小学生の部は、選手6人・補欠4人までとする。

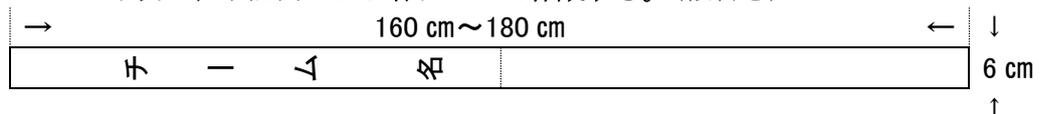
(3) 選手の走順は、参加申込書のコピーに記入して大会当日の受付に提出する。

(4) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走区から次走者を出発させることができる。この場合の出発時刻は、最終走者と同時とし、オープン参加として取り扱う (総合記録は認定しないが、事故による区間以外の区間記録は認める。但し、小学校の部は除く)。

(5) 伴走は一切認めない。但し、主催者が認め、監督会議で承認された場合を除く。

(6) タスキは、必ず肩から斜め脇下にかけて走ることにする。タスキの引き継ぎは手渡しでなければならない。投げ渡しや前走者が落としたタスキを次走者が拾った場合は失格となる。

(7) タスキは布製で、下記例により各チームで作成する。(縦書き)



(8) アスリートビブスは下記例により各チームで作成する。

(例) チーム名「船橋」、チーム番号「3」、区間「1区」の場合



20 個人情報の取り扱いについて

個人情報保護に関する法令等を遵守し、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用いたします。

21 その他

【駐車場】大会当日、運動公園駐車場は満車が予想されます。幹線道路の交通渋滞や近隣民間店舗への違法駐車等による迷惑防止のため、公共の交通機関を利用してください。

2023船橋市民マラソン大会 実施報告

1. 主催 船橋市マラソン・駅伝実行委員会
2. 共催 船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
3. 主管 船橋市陸上競技協会
4. 日時 令和5年11月12日（日）午前8時15分 開会式
5. 会場 船橋市運動公園陸上競技場

2023船橋市民マラソン大会 完走者数（申込者数）について

2023. 11. 12 運動公園陸上競技場

・小学校の部 _____ 71 人

男	子	48 人	(56人)
女	子	23 人	(30人)

・中学校の部 _____ 205 人

男子	(3 k m)	98 人	(121人)
男子	(5 k m)	19 人	(22人)
女子	(2 k m)	76 人	(90人)
女子	(3 k m)	12 人	(15人)

・高校の部 _____ 94 人

男	子	71 人	(83人)
女	子	23 人	(37人)

・年齢別の部 _____ 59 人
(マスターズ)

男子 49 人

4 0 歳 代 25 人 (30人)

5 0 歳 以 上 24 人 (28人)

女子 10 人

4 0 歳 以 上 10 人 (11人)

・一般の部 _____ 82 人

男	子	61 人	(90人)
女	子	21 人	(23人)

・宣言タイムレース（親子）の部 _____ 118 組 236人
(147 組 294人)

◎総 計 747人 (930人)

※2022完走者数：609人 (704人)

令和5年度公民館文化祭 参加者数

公民館名	開催月日	延べ参加人数	
中央公民館	11月4日(土)	3,210人	計 6,173人
	11月5日(日)	2,963人	
浜町公民館	10月7日(土)	1,881人	計 3,628人
	10月8日(日)	1,747人	
宮本公民館	10月28日(土)	1,965人	計 4,671人
	10月29日(日)	2,706人	
海神公民館	10月21日(土)	1,966人	計 4,073人
	10月22日(日)	2,107人	
東部公民館	9月2日(土)	1,753人	計 3,676人
	9月3日(日)	1,923人	
三田公民館	10月28日(土)	971人	計 1,985人
	10月29日(日)	1,014人	
習志野台公民館	10月21日(土)	1,400人	計 3,100人
	10月22日(日)	1,700人	
飯山満公民館	11月4日(土)	2,101人	計 3,096人
	11月5日(日)	995人	
薬門台公民館	10月14日(土)	1,752人	計 3,515人
	10月15日(日)	1,763人	
西部公民館	9月30日(土)	863人	計 1,813人
	10月1日(日)	950人	
法典公民館	10月14日(土)	1,891人	計 3,237人
	10月15日(日)	1,346人	
丸山公民館	10月14日(土)	1,164人	計 2,462人
	10月15日(日)	1,298人	
塚田公民館	10月21日(土)	2,251人	計 4,044人
	10月22日(日)	1,793人	
葛飾公民館	10月7日(土)	1,082人	計 2,240人
	10月8日(日)	1,158人	

公民館名	開催月日	延べ参加人数	
北部公民館	11月4日(土)	1,632人	計 3,060人
	11月11日(土)	1,428人	
二和公民館	10月7日(土)	451人	計 1,421人
	10月8日(日)	970人	
海老が作公民館	10月21日(土)	640人	計 1,210人
	10月22日(日)	570人	
小室公民館	11月4日(土)	608人	計 1,465人
	11月5日(日)	857人	
八木が谷公民館	10月28日(土)	995人	計 1,391人
	10月29日(日)	396人	
三咲公民館	10月14日(土)	640人	計 1,260人
	10月15日(日)	620人	
松が丘公民館	11月11日(土)	1,586人	計 3,622人
	11月12日(日)	2,036人	
坪井公民館	11月18日(土)	457人	計 1,186人
	11月19日(日)	729人	
高根台公民館	10月21日(土)	1,547人	計 2,859人
	10月22日(日)	1,312人	
夏見公民館	10月27日(金)	27人	計 1,557人
	10月28日(土)	697人	
	10月29日(日)	833人	
高根公民館	10月14日(土)	568人	計 1,040人
	10月15日(日)	472人	
新高根公民館	11月11日(土)	884人	計 1,996人
	11月12日(日)	1,112人	

計 69,780人

郷土資料館企画展「くらしの道具展―寒さをしのぐ温故知新―」

1. 開催期間

令和6年1月20日（土）～3月31日（日）

2. 開催場所

郷土資料館3階 第2展示室

3. 開催の趣旨

私たちの生活は、様々な道具に支えられている。環境の変化や人々の生活の変化、技術の進歩などによって、あまり使われなくなったモノや形や使い方が変化したモノも存在する。

本年は「温・暖」をテーマに、冬の寒さをしのぐ道具を特に取り上げる。人々は、家や屋外で、様々な道具を使い、工夫して体をあたためてきた。例えば、石炭を使った「あんか」や藁を使用した「ワラグツ」などがある。また、これらは時と共に電気を使う電気あんかや動物の革や合成の革を使ったブーツへと変化していった。

そのほか、簡易かまどや氷冷蔵庫などの調理道具、手回し洗濯機や炭火アイロンなどの洗濯道具、唐箕や千歯こき等の農具、学校関連の資料や玩具等、様々な生活道具を展示する。これら実際に使われた道具の展示を通じて、船橋市に住む人々の生活がどのように変化したかを知ってもらうと共に、様々な道具の工夫を知る機会としたい。

4. 主催

船橋市教育委員会生涯学習部郷土資料館（電話 047-465-9680）

5 関連イベント

①展示解説

1月28日、2月11日、3月10日（いずれも日曜日） 14:00～

企画展を、担当学芸員が、収蔵資料のエピソードと共に紹介

②さわってみよう！むかしの道具

1月27日、2月24日、3月23日（いずれも土曜日） 14:00～ 各回10名

郷土資料館で収蔵しているむかしの道具を実際に触り、理解を深めるワークショップ

1月は暖房に関する道具、2月は衣服、3月は炊事に関する道具について行う予定。

令和5年に西図書館で行った「さわってみよう！むかしの道具」と同等の内容を想定している。

③火鉢いちおし選手権！

会期中、郷土資料館が所有する火鉢を7～8個展示し、その中で一番の「推し」を見つけて投票してもらおう。一位となった火鉢は、新しいミュージアムカード「火鉢」の写真として加える。

※ミュージアムカード 船橋市郷土資料館で令和5年1月から配付をはじめた博物館所蔵資料をカード化したものこと。博物館で希望すると行えるクイズラリーの景品として渡している。令和5年10月1日から第二弾に変更しており、作成済のものは、令和5年11月1日現在で、通常10種、シークレット1種の合計11種類ある。

第一弾は 1,707枚の配付だった。



ミュージアムカード事例（表）



ミュージアムカード事例（裏）

参加費
無料

考古学講座

各回定員
150名

事前
予約制



専門家や学芸員がその専門分野に基づき、考古学について解説します。

時間 各日、14:00~15:30 (開場13:30)

会場 海神公民館

申込 12/1(金)より受付開始 電話orオンラインで事前に申し込み

Line up!!

1月13日(土)

さらに楽しむ「変化する縄文の暮らし－船橋の縄文時代後期－」展
狩野 美那子 (飛ノ台史跡公園博物館)

1月20日(土)

加曽利貝塚の魅力－市民とともに歩んだ半世紀－
佐藤 洋氏 (千葉市教育委員会 生涯学習部文化財課)

1月27日(土)

千葉県出土の土偶－その変遷と特徴－
安井 健一氏 (千葉県教育振興財団)

船橋市教育委員会
生涯学習部

飛ノ台史跡公園博物館

電話：047-495-1325

